

健常人におけるリポ蛋白中のコレステロール・トリグリセライド比の基準値

岡本 美智子 松村 佳永子 森嶋 祥之 秋山 利行
(近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部)

【目的】アガロースゲル電気泳動法を用いたコレトリコンボ（ヘレナ研究所）では、コレステロール（Chol）分画とトリグリセライド（TG）分画を重ね合わせることで、波形と分画値からリポ蛋白中のChol、TG量と代謝異常を判断できる。今回我々は、客観的に各リポ蛋白中のChol、TGの組成を把握するための指標として、コレトリコンボから得られる各リポ蛋白中のChol/TG比に注目し、その性能評価と基準値について検討したので報告する。

【方法】1.性能評価：同時、日差再現性を行った。同時再現性は市販コントロール血清（HDLコントロール：ヘレナ研究所）と患者血清を用い、日差再現性には市販コントロール血清を用いた。2.基準値設定の対象：当院職員検診受診者のうち血色素、総蛋白、総コレステロール（TC）、総トリグリセライド（TTG）、血糖、クレアチニン、AST、ALT、 γ -GTPが基準範囲内にある20～60代の健常人288名（男性151名、女性137名）とした。3.基準値の設定：コレトリコンボから得られた分画値から、HDL-Chol/TG（HDL比）、VLDL-Chol/TG（VLDL比）、LDL-Chol/TG（LDL比）

を算出し、それぞれ統計学的にmean、SDを求め、 $\text{mean} \pm \text{SD}$ を基準値とした。

【結果】1.性能評価：同時、日差再現性ともにHDL比のCV値は高めであったがVLDL比、LDL比では良好な結果が得られた。2.基準値の設定：全例ではHDL比； 4.89 ± 1.94 VLDL比； 0.35 ± 0.21 LDL比； 4.83 ± 1.36 であった。全体の男女間においてHDL比、VLDL比で有意に男性が低値を示し、性差を認めた。年代別ではHDL比、VLDL比、LDL比は、加齢により低下傾向を示した。また、各年代の男女間ではLDL比を除き、男性の方が低値傾向を示した。

【結論】今回設定した各リポ蛋白中のChol/TG比の基準値は、コレトリコンボの波形解析の際にリポ蛋白代謝やリポ蛋白中のChol、TGの組成比を客観的に観察できる有用な指標の1つと考える。

連絡先：072-366-0221 内線 2185